

## ときわホーム 地域連携推進会議議事録

1 期 日	令和8年1月29日(木)
2 時 間	15時20分～17時00分
3 場 所	ふじの木園会議室、ときわホーム
4 出席者	利用者代表 利用者 1名 利用者家族代表 利用者家族 1名 地域の関係者 民生委員 1名 福祉の知見者 江南市社会福祉協議会 1名 市役所 江南市役所ふくし部ふくし支援課 1名 施設側 ときわ作業所施設長 1名 ときわホーム管理者 1名 ときわホームサービス管理責任者(基礎研修修了者) 1名 欠 席 ときわホームサービス管理責任者 1名

### 1 あいさつ

ときわ作業所施設長より挨拶を行った。

本日は地域連携推進会議へご出席いただき、ありがとうございます。

ときわホームは鉄筋コンクリート造、平屋建てで、定員6名の「介護サービス包括型グループホーム」で、現在12年目です。ときわ会の法人理念である「明るく楽しくのびのびと」をモットーに、「地域の中で障害をもったありのままの姿で、当たり前暮らしをしていくこと」を目標に、利用者が自立をめざし、地域において日常生活または社会生活を営むことができるように、利用者の意思及び人格を尊重し、心身の状況や有する能力に応じて必要な援助やサービスを総合的に提供し、支援をしています。後ほど、管理者から概要の説明や近況報告をさせていただきますので、忌憚のないご意見やご要望をいただければ幸いです。

### 2 出席者自己紹介

本日の会議の出席者の紹介を行い、出席者から挨拶をいただいた。

### 3 障害者支援施設ふじの木園地域連携推進会議

#### ① 地域連携推進会議の目的と役割

管理者より、資料に基づき、地域連携推進会議の目的と役割について説明を行い、構成員との間で共有を図った。

#### ② ときわホームの概要

管理者より、資料に基づき、ときわホームの概要についての説明を行った。また、日課表・年間行事表・平面図等を用いて利用者の生活状況や環境等についての説明を行った。

#### ③ 共同生活援助事業所利用までの流れ

管理者より、資料に基づき、共同生活援助事業所利用までの流れについての説明を行った。

④ ときわホームの近況報告

管理者より、資料に基づき、ときわホームの近況報告についての説明を行った。

委員会等の報告では、虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会、感染対策委員会、災害対策の各取り組み内容等について説明を行った。

事故等の報告では、大きな事故にはつながらなかったが、誤薬があったことについて説明を行った。

行事等の取り組みでは、事業所行事（お花見会、花火会等）、休日余暇活動等の取り組みの内容について説明を行った。また、その他の取り組みとして、利用者の重度化高齢化に対する取り組みについての説明を行った。

⑤ 施設訪問

施設訪問を実施する（説明者：管理者）。

リビング、浴槽、トイレ等の共用部や居室の見学を実施した。

⑥ 意見交換・総括等

民生委員より、誕生会は必要であると助言をいただく。

施設側より、6人と少人数のため、同じ月に誕生者がいる場合についても個々に行っていること、他の利用者からお祝いの言葉を伝えていることをお伝えする。

江南市社会福祉協議会職員より、散歩は自由に行けますかと質問があった。

施設側より、日中活動の場であるときわ作業所から帰宅後は利用者のみで周辺を散歩していること、土日も職員と一緒に事業所周辺を散策していることをお伝えする。

江南市役所ふくし支援課職員より、利用者は開所当時から変わらないですかと質問があった。

施設側より開所当時に入所されている方が現在も利用されていることをお伝えする。

江南市役所ふくし支援課職員より、食事の提供方法について質問があった。

施設側より食材の配送サービスを活用して主食はご飯中心での提供をしていること、日曜日の朝食は自炊で主食はパンを提供していることをお伝えする。

利用者家族代表より、食事摂取場所について質問があった。

施設側より、コロナ禍以前はリビングで摂取していたこと、現在は利用者のペースで摂取していただきたいため、居室での摂取を継続していることをお伝えする。

利用者代表より、楽しいと話があった。